

本事業は、図1の温室効果ガス吸収・削減対策協議会の一環として実施するとともに、図2に示すコンソーシアム事業として支援。

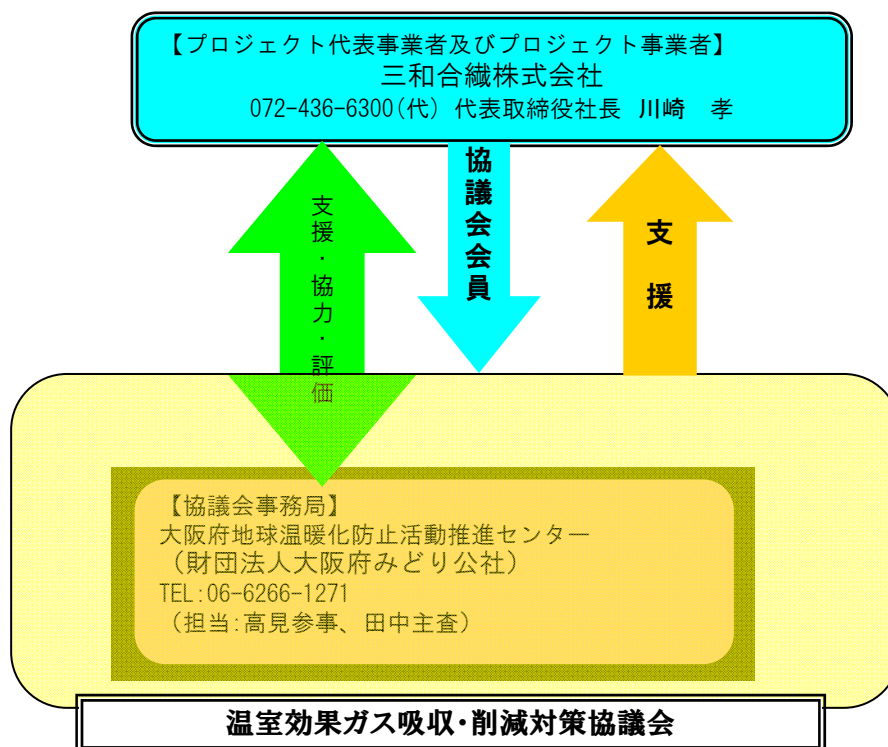


図1 温室効果ガス吸収・削減対策協議会

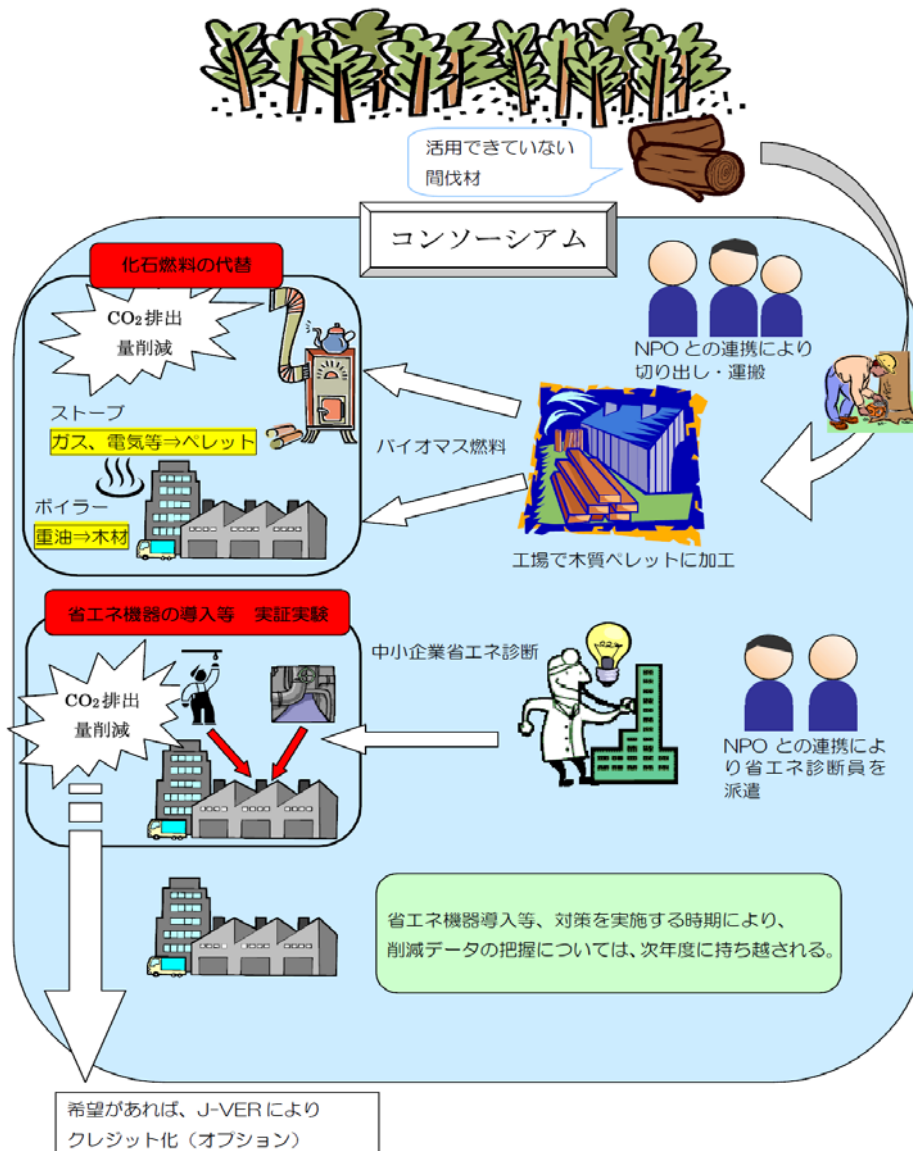
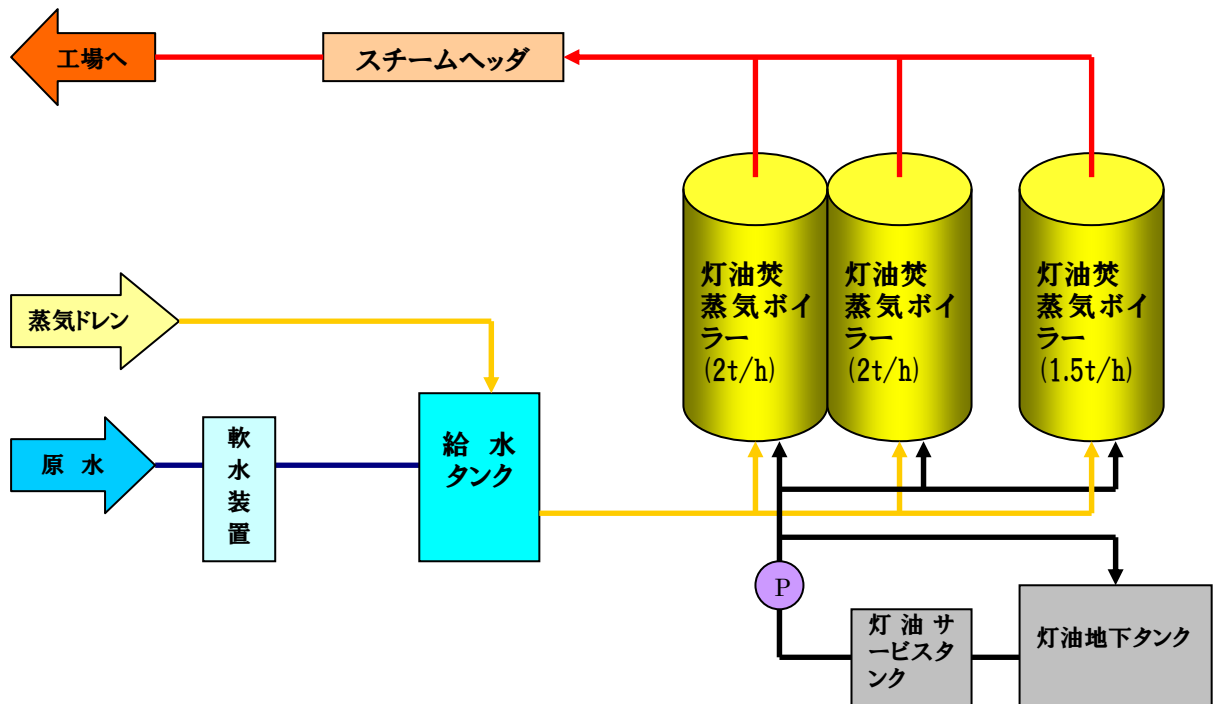
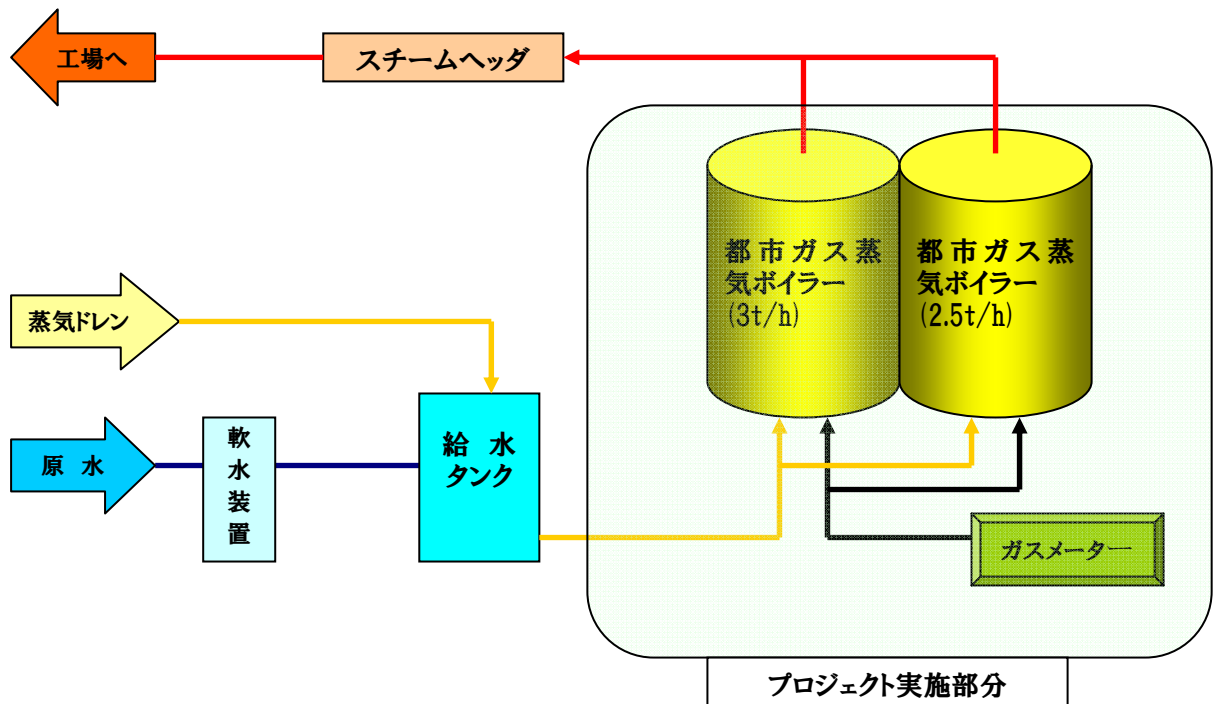


図2 大阪府バイオマス燃料・省エネ推進コンソーシアム

導入する設備・技術等に関する説明資料



プロジェクト実施前



プロジェクト実施後

都市ガスの補正について

添付資料3

東京ガスでは、都市ガス使用量(m³)に下表のCO2排出係数をかけることで、都市ガスの燃焼によるCO2排出量を計算できるとしている。(大阪ガス確認済)

その計算方法は、例えば、工場の中圧(0.981kPa、15°C)では、

$$\begin{aligned} \text{補正係数} &= \frac{273\text{ }^{\circ}\text{C}}{(273\text{ }^{\circ}\text{C} + 15\text{ }^{\circ}\text{C})} \times \frac{(0.000981\text{ Mpa} + 0.101325\text{ MPa})}{0.101325\text{ MPa}} \\ &= 0.9571 \quad (2.29 \times 0.9571 = 2.19) \end{aligned}$$

ガス供給会社である東京ガスがこのような補正方法について公開していることから、本プロジェクトにおいては、事業者に供給されている供給圧を一定の0.981kPaとし、温度については、15°Cで補正することとする。

表 (東京ガス13A)(45メガジュール)のCO2排出係数

ガスの種類	1m ³ あたりの発熱量	CO2排出係数	
13A	45メガジュール	2.21	kg/m ³ (*1)
		2.19	kg/m ³ (*2)
		2.29	kg/m ³ (*3)

(*1) 一般家庭など低圧供給のお客さま(15°C、供給圧カゲージ圧2kPa状態換算時の係数)

(*2) 工場や商業ビルなどの中圧供給のお客さま(15°C、ゲージ圧0.981kPa(100mmH₂O)の状態換算時の係数)

(*3) 標準状態の値(0°C、1気圧)

URL:<http://home.tokyo-gas.co.jp/userguide/netsuryou.html>より引用